

第 1 号議案 2009 年度事業報告書

2009 会計年度 (2009.4.1 - 2010.3.31)

I. 研究活動

1. 第 2 回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援
 - 1-1. 技術アドバイザーとして、株式会社技研製作所の田内宏明氏が第 2 回 IPA 研究助成賞受賞者である東京大学 講師 長井宏平氏の元へ計 3 回訪問し、研究内容についてアドバイスをを行った。
2. 研究委員会において圧入工学セミナーを開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努めた。
 - 2-1. 『第 1 回 IPA 圧入工学セミナー』を 2010 年 3 月 17 日 16:00 から 17:30 まで IPC 会議室にて行い、約 60 名が参加した。講演内容は以下の通りである。
講演 1 ... 『最近の基礎に関する 4 つの話題』
講師: 東京工業大学 教授 日下部 治
講演 2 ... 『PPT 研究開発の最新情報』
講師: 株式会社技研製作所 実証科学部 主任 石原 行博
3. 第 1 号 IPA 研究論文集『Press-in Engineering 2009』を発行し、国立国会図書館に寄贈するとともに、国内外大学、関連する企業・協会に配布した。
4. 研究委員会にて、第 3 回 IPA 研究助成賞応募要領の作成を行った。
5. 「圧入設計指針」「圧入施工指針」を作成する委員会設置について検討を行った。

II. 国際会議活動

1. 第 3 回 IPA 国際ワークショップの準備
 - 1-1. ボルトン会長来日時に、第 3 回 IPA 国際ワークショップについて打ち合わせを行った。(2009 年 7 月 13 日)
 - ① 中国上海市を開催候補地とした。
 - ② 第 2 回 IPA 国際ワークショップ同様、施工現場の見学会を行うこととした。
 - ③ ボルトン会長から、2010 年 5 月にイギリスで開催される DFI の国際会議で、デイヴィッド・ホワイト理事が特別講演を行うので、同様の内容を第 3 回 IPA 国際ワークショップでも行うことにした。
 - 1-2. 日下部理事よりご紹介いただいた同済大学パン教授と連絡を取り、中国でのワークショップの準備に着手した。(2009 年 10 月 14 日)

- 1-3. 上海の現状知るため、円谷事務局員が『上海・東京グローバルコンファレンス』に参加し、情報収集を行った。(2009 年 11 月 18 日)
- 1-4. 奥村事務局長と田中監事が第 3 回 IPA 国際ワークショップの会場調査のため、上海に出張し 3 軒のホテル視察を行った。その結果、「オークラガーデンホテル上海(花園飯店)」に会場を決定した。(2009 年 12 月 14～16 日)
2. 他の学協会との連携強化として『社会マネジメントシステム学会(SSMS2009)』に出席した。(2010 年 3 月 4～6 日)

III. 委員会活動

1. 総会

- 1-1. 2009 年度通常総会を 2009 年 7 月 21 日～8 月 18 日に開催した。
すべて全会一致で決議された。

- | | |
|---------|---------------------|
| 第 1 号議案 | 2008 年度事業報告書 |
| 第 2 号議案 | 2008 年度収支計算書及び監査報告書 |
| 第 3 号議案 | 2009 年度事業計画書 |
| 第 4 号議案 | 2009 年度収支予算書 |
| 第 5 号議案 | 理事選任 |

2. 研究委員会

- 2-1. 第 1 回研究委員会を 2009 年 9 月 15 日にエンジニアリング振興協会にて東京工業大学 教授 日下部治氏、港湾空港技術研究所 部長 菊池喜昭氏、東京大学 講師 長井宏平氏、多賀谷委員長他 8 名が出席して開催し、以下の議論を行った。

- ① 2009 年度 IPA 事業計画の概要説明
- ② 第 3 回 IPA 研究助成賞及びワークショップの予定
- ③ 研究委員会の活動計画
- ④ 圧入技術に関する研究マップ、ロードマップについて

- 2-2. 第 2 回研究委員会を 2010 年 1 月 20 日に IPC 会議室にて東京工業大学 教授 日下部治氏、金沢大学 教授 松本樹典氏、港湾空港技術研究所 部長 菊池喜昭氏、東京大学 准教授 内村太郎氏、講師 長井宏平氏、多賀谷委員長他 7 名が出席して開催し、以下の議論を行った。

- ① 第 1 回研究委員会議事録の確認
- ② 圧入技術における未解決問題(単独圧入)
- ③ 第 3 回 IPA 研究助成賞の候補テーマの審議
- ④ 第 3 回 IPA 国際ワークショップの進捗報告(上海出張報告)

- 2-3. 第 3 回研究委員会を 2010 年 3 月 17 日に IPC 会議室にて東京工業大学 教授 日下部治氏、金沢大学 教授 松本樹典氏、東京大学 准教授 内村太郎氏、多賀谷委員長他 8 名が出席して開催し、以下の議論を行った。

- ① 第 2 回研究委員会議事録の確認
- ② 第 3 回 IPA 研究助成賞の候補テーマの審議
- ③ PPT データの検討

3. 広報委員会

- 3-1. 第1回広報委員会を2009年3月13日に東京と高知とのテレビ会議で実施した。
ホームページの更改方法等について検討した。

IV. 広報活動

1. ホームページの更新

- 1-1. 国際圧入学会のホームページに種々の活動に関するコンテンツを追加更新した。

2. 講演活動

- 2-1. 全国圧入協会の2009年度総会において、2009年6月4日に奥村事務局長が『国際圧入学会の最近の成果と社会インフラの開発』と題して講演した。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動

技研製作所IPA推進室が主体的に正会員、法人会員の勧誘活動を行った。2010年3月末現在の会員数は以下のとおりである。

正会員	450 名
法人会員	21 社
学生会員	6 名

2. 会員証の発行

全会員に会員証を発行して郵送した。

3. 事務所移転

江東区有明の株式会社技研製作所東京本社より、2009年6月に港区新橋の全国圧入協会事務所に移転し、新事務所となる国際圧入センター(IPC)の機能・設備等について計画を策定し、2010年1月5日港区港南に全国圧入協会、株式会社技研製作所と共同で国際圧入センター(IPC)を開所した。

以 上

第 2 号議案 2009 年度収支計算書及び監査報告書

2009 年度(2009.4.1-2010.3.31)

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	600,000	600,000	0	6社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,530,000	4,500,000	△ 30,000	450名
法人会員年会費収入	2,500,000	2,500,000	0	25口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	0	750,000	750,000	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	10,000	9,574	△ 426	
事業活動収入計	7,640,000	8,359,574	719,574	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第1号IPA論文集印刷代	700,000	714,471	14,471	
第2回IPA研究助成賞受賞者研究支援	200,000	63,460	△ 136,540	
第3回IPA国際ワークショップ準備	800,000	508,383	△ 291,617	
研究委員会委員謝金	200,000	290,000	90,000	
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	160,000	133,350	△ 26,650	
会員証作成費用	70,000	49,770	△ 20,230	
印刷代	100,000	29,925	△ 70,075	
国内外送料	350,000	184,925	△ 165,075	
通信費	100,000	76,096	△ 23,904	
賃借料	0	750,000	750,000	
IPC事務用品費	0	46,277	46,277	
支払手数料	40,000	35,492	△ 4,508	
③ 国内交通費				
事務局員	550,000	508,092	△ 41,908	
研究委員会開催費	450,000	423,334	△ 26,666	
④ 支部活動費	800,000	0	△ 800,000	
事業活動支出計	4,520,000	3,813,575	△ 706,425	
事業活動収支差額	3,120,000	4,545,999	1,425,999	

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金支出	2,000,000	4,000,000	2,000,000	
什器備品購入	0	119,800	119,800	
投資活動支出計	2,000,000	4,119,800	2,119,800	
投資活動収支差額	△ 2,000,000	△ 4,119,800	△ 2,119,800	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	200,000	61,289	△ 138,711	
当期収支差額	920,000	364,910	△ 555,090	
前期繰越収支差額	2,004,317	2,004,317	0	
次期繰越収支差額	2,924,317	2,369,227	△ 555,090	

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2010年 6月 18日

監事 田中孝明 印

監事 ノートン・エイデル 印

ADRIAN FL HYDE



In our opinion, the above statement of accounts are presented fairly in all material respects.

18 JUNE, 2010.

Auditor

Auditor

第 3 号議案 2010 年度事業計画書

2010 会計年度 (2010.4.1 - 2011.3.31)

I. 研究活動

1. 第 3 回 IPA 研究助成賞の公募と授与

4 月にプロポーザル公募を開始し、以下のスケジュールで審査し、授与式を行う。

6 月 15 日	プロポーザル提出締切り
7 月 30 日	審査終了
8 月 2 日	受賞者に連絡
10 月 14 日、15 日	第 3 回 IPA 国際ワークショップ開催時に授与式の実施

2. 第 2 回 IPA 研究助成賞受賞者の論文作成の支援

3. 第 3 回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援

4. 「圧入施工指針」の作成委員会の活動を開始

5. IPA 研究論文集第 2 号「Press-in Engineering 2011」の編集と出版準備

6. 研究成果発表会、第 3 回 IPA 国際ワークショップの報告会、セミナーなどを開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努める。

7. 正会員、法人会員等から圧入施工現場の計測に関する相談・プロポーザルがあった場合、計測業務を支援

II. 国際会議活動

1. 第 3 回 IPA 国際ワークショップを開催するための準備を行う。圧入施工のデモンストレーション現場を探索し、中国の人脈拡大を行う。

2. 第 3 回 IPA 国際ワークショップを 10 月 14～15 日に中華人民共和国・上海市で開催する。 主な内容は以下のとおりである。

2-1. 総会と理事会

2-2. 第 3 回 IPA 研究助成賞授与式と研究計画の発表

2-3. 第 2 回 IPA 研究助成賞受賞者による研究成果論文発表

2-4. 最新の圧入技術・プロジェクト、中国における圧入技術の普及などに関する講演

3. 第 4 回 IPA 国際ワークショップ開催候補地の検討

4. 産学官との連携強化

4-1. 同済大学土木工学部など中国の大学との連携強化

4-2. ASCE、DEI、中国土木学会、上海土木学会などと情報交換

III. 委員会活動

1. 総務委員会の活動を充実させ、財政基盤を強化する。
2. 研究委員会において機械・計測分野の委員を拡充し、研究活動を活発にする。現場計測データなどの解析を行って、地下の可視化に重点を置いた研究活動を行う。
3. 研究委員会において、産学官連携の研究活動を推進する。
4. 研究委員会の中に査読委員会を設けて、第2回 IPA 研究助成賞受賞者の研究成果論文を査読する。
5. 表彰委員会の中に選考委員会を設けて、第3回 IPA 研究助成賞に応募されたプロポーザルの選考を行う。
6. 広報委員会にて、ホームページの充実、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表などの広報活動を活発に行う。

IV. 広報活動

1. ホームページの更新、会員専用サイトの拡充などを行う。
2. 第3回 IPA 国際ワークショップなどのイベント、研究成果などを新聞・雑誌に適時に発表する。
3. 講演活動を全国圧入協会総会などで実施する。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動を積極的に行う。特に、法人会員を拡大する活動を充実させる。
2. 国際圧入センターを活用して、会員サービスを積極的に行う。

以 上

第 4 号議案 2010 年度収支予算書

2010 年度(2010.4.1-2011.3.31)

(単位: 円)

科 目	2009年度決算額	予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	600,000	300,000	△ 300,000	3社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,500,000	4,400,000	△ 100,000	440名(10名減)
法人会員年会費収入	2,500,000	2,800,000	300,000	28口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	750,000	3,000,000	2,250,000	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	9,574	10,000	426	
事業活動収入計	8,359,574	10,510,000	2,150,426	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第3回研究助成金支出	0	5,000,000	5,000,000	
第3回IPA国際ワークショップ	0	6,100,000	6,100,000	
第3回IPA国際ワークショップ準備	508,383	600,000	91,617	
第1号IPA論文集印刷代	714,471	0	△ 714,471	
第2回IPA助成賞論文査読料	0	200,000	200,000	
第2回IPA研究助成賞受賞者研究支援	63,460	0	△ 63,460	
第3回IPA研究助成賞選考料	0	200,000	200,000	
第3回IPA研究助成賞受賞者研究支援	0	200,000	200,000	
研究委員会委員謝金	290,000	300,000	10,000	
現場計測支援	0	500,000	500,000	
中国圧入技術現状調査	0	500,000	500,000	
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	133,350	160,000	26,650	
会員証作成費用	49,770	30,000	△ 19,770	
印刷代	29,925	100,000	70,075	
国内外送料	184,925	100,000	△ 84,925	
通信費	76,096	100,000	23,904	
賃借料	750,000	3,000,000	2,250,000	
IPC事務用品費	46,277	360,000	313,723	
支払い手数料	35,492	50,000	14,508	
③ 国内交通費				
事務局員	508,092	500,000	△ 8,092	
研究委員会開催費	423,334	400,000	△ 23,334	
④ 支部活動費	0	0	0	
事業活動支出計	3,813,575	18,400,000	14,586,425	
事業活動収支差額	4,545,999	△ 7,890,000	△ 12,435,999	

(単位: 円)

科 目	2009年度決算額	予算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	0	6,000,000	6,000,000	
投資活動収入計	0	6,000,000	6,000,000	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金預入支出	4,000,000	0	△ 4,000,000	
什器備品購入	119,800	0	△ 119,800	
投資活動支出計	4,119,800	0	△ 4,119,800	
投資活動収支差額	△ 4,119,800	6,000,000	10,119,800	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	61,289	200,000	138,711	
研究予備費	0	100,000	100,000	
当期収支差額	364,910	△ 2,190,000	△ 2,554,910	
前期繰越収支差額	2,004,317	2,369,227	364,910	
次期繰越収支差額	2,369,227	179,227	△ 2,190,000	

第 5 号議案 理事選任

理事選任

I. 理事および監事の選任

1. 定款第 12 条に基づき、理事の新任をする。

任期は通常総会終了後から他の理事および監事と同じ 2011 年までとする。

理事候補者

氏名 : 彭 芳楽 (パン・ファン・ルー)
現所属 : 同済大学 土木工学部地盤工学科 地下空間センター所長
役職 : 教授
国籍 : 中華人民共和国

学歴

1983.9～1987.7 上海・同済大学土木工学科 学士
1987.9～1990.3 上海・同済大学地盤工学科 修士課程
1997.4～2000.9 東京・東京大学工学部土木工学科 博士課程

職歴

1990.4～1991.3 上海・同済大学地盤工学科 教育補助
1991.4～1993.11 上海・同済大学地盤工学科 助教授
1993.12～1997.3 東京・日本シールドトンネルコンサルタント(株) 研究員
2000.10～2001.9 東京・東京大学工学部土木工学科 ポスドク・リサーチフェロー
2001.10～2004.9 東京・白石(株) 技術開発本部 主任研究員
2004.10～現在 上海・同済大学地盤工学科 教授

研究分野

地盤工学における構成的モデル化及び数値解析、ジオテキスタイル等で補強した土構造、先端的な地下構造の施工方法、都市における地下空間の計画。
本を 2 冊執筆し、120 以上の論文を執筆。

第 6 号議案 定款の改訂

定款の改訂

I. 事務所住所の変更

1. 定款 第 1 章総則 第 2 条 事務所の住所変更を以下のとおり行う。

旧住所: 東京都江東区有明 1 丁目 3 番 28 号

新住所: 東京都港区港南 2 丁目 4 番 12 号 港南 YK ビル 9 階 国際圧入センター内

国際圧入センター(IPC)は、全国圧入協会、株式会社技研製作所と共同で入所。